

## 町田市副市長に榎本悦次氏が就任

☎秘書課☎724・2100



3月25日に開かれた市議会本会議で同意を得て、副市長に榎本悦次氏が4月1日付で就任しました。

### 〈経歴〉

1959年生まれ、62歳。1983年町田市就職。市民部長、政策経営部経営改革室長、総務部長などを歴任、2021年4月から(一財)町田市体育協会事務局長。

## 高橋豊副市長が退任

高橋豊副市長が3月31日付で退任しました。高橋副市長は2014年4月に副市長に就任し、市の発展に尽力してきました。



## 議長に戸塚正人氏、副議長にいわせ和子氏が就任

☎議会事務局☎724・2171

町田市議会は、令和4年第1回市議会定例会で、3月9日に市議会議長に戸塚正人氏(まちだ市民クラブ会派)を、副議長にいわせ和子氏(選ばれる町田をつくる会会派)を選出しました。

戸塚正人議長は、昭和55年生まれで41歳。市議当選5回。総務常任委員会委員長、第15期町田市議会改革調査特別委員会副委員長、議会運営委員会副委員長などを歴任しています。



いわせ和子副議長は、昭和38年生まれで59歳。市議当選5回。建設常任委員会副委員長、文教社会常任委員会委員長、総務常任委員会委員長などを歴任しています。



## ウクライナ人道危機救援金の受け付け

☎日本赤十字社パートナーシップ推進部☎03・3437・7081、  
☎町田市福祉総務課☎724・2537

日本赤十字社では、ウクライナ人道危機救援金を5月31日(火)まで受け付けています。町田市でも救援金箱を設置しています。詳細は市HP(右記二次元バーコード)をご覧ください。ご協力をお願いします。



### ○救援金箱の設置場所

福祉総務課(市庁舎7階)、総合案内・市民課(市庁舎1階)、中央図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、各市民センター、各連絡所の窓口

### ○ゆうちょ銀行での振替による送金

窓口での取り扱いの場合、振替手数料は無料です。

☎座番号00110-2-5606

☎加入者名日本赤十字社/通信欄に「ウ

クライナ人道危機救援金」と明記してください。受領証発行希望の方は、「受領証希望」と明記してください。

### ○銀行による送金

振込手数料が別途かかる場合があります。

☎座番号三井住友銀行すずらん支店(普)2787781、三菱UFJ銀行やまびこ支店(普)2105784、みずほ銀行クヌギ支店(普)0623471

☎座名義日本赤十字社(3行共通)/受領証発行希望の方は、住所・氏名(受領証の宛名)・電話番号・寄付日・寄付額・振込金融機関名と支店名を日本赤十字社パートナーシップ推進部へご連絡ください。

## 健康増進温浴施設がオープンしました

☎スポーツ振興課☎724・4036

市立室内プールに隣接する健康増進温浴施設がオープンしました。町田市バイオエネルギーセンターで発生する熱エネルギーを有効活用し、市民の皆さんのスポーツ推進、また、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康の増進と交流を図る場の創出を目的として整備しました。

※4月1日は開所式を行うため、施設の一般利用は午後3時からとなります。

☎所在地☎図師町199-1

※詳細は市HP(右記二次元バーコード)をご覧ください。



## ひかり療育園を民営化します

☎障がい福祉課☎724・2147FAX050・3101・1653

1980年から約40年間、市が運営してきた障がい者施設「ひかり療育園」は、通所の生活介護事業を民営化し、4月1日から(社福)まちだ育成会が運営します。運営の移譲に先立ち、3月14日には引継ぎ式を行い、利用者・関係者の前で、市長からまちだ育成会の理事長へバトンを渡しました。

ひかり療育園の他の事業については下表の問い合わせ先のとおりです。

今回の民営化・委託化等により、各事業とも、今までよりも効果的な運営体制を築き、サービス水準の向上を目指します。



事業名	事業内容	新・問い合わせ先
生活介護事業	比較的重度の身体または知的障がい者等を対象とした通所サービスの提供	(社福)まちだ育成会 ひかり療育園☎794・0730
高次脳機能障がい者相談支援事業	高次脳機能障がいの当事者・家族への相談支援、グループ活動の主催など	(社福)まちだ育成会 ひかり療育園(業務委託)☎794・0733
孤立障がい者・家庭対策事業(旧・訪問事業)	社会的に孤立する障がい者・家庭の調査及び相談支援	障がい福祉課☎724・3089
成年後見制度の相談事業	障がい者の成年後見制度利用に関する相談・申立支援	(社福)町田市社会福祉協議会福祉サポートまちだ(業務委託)☎720・9461

## 4月15日から

## 多摩境駅周辺を美化推進重点区域・道路等喫煙禁止区域に指定します

☎環境共生課☎724・4391

市では、地域の環境美化を推進するために「町田市あきかん・吸い殻等の散乱防止等に関する条例」を定め、指定する駅周辺での空き缶や吸い殻のポイ捨て・路上喫煙を禁止するため、区域の指定をしています。このたび京王相模原線多摩境駅周辺を、4月15日から「美化推進重点区域・道路等喫煙禁止区域」に指定します。この区域内で空き缶や吸い殻等のポイ捨てをした場合は、2万円以下の罰金に、路上喫煙をした場合には、2000円以下の過料の対象になります。



## 東京2020大会開催記念銘板を設置しました

☎スポーツ振興課☎724・4036

市内でオリンピック聖火リレー及びオリンピック自転車競技が開催されたことを後世に伝えるため、町田シバヒロと多摩境駅前広場に銘板を設置しました。

また、市立総合体育館には東京2020大会開催を記念したパネルを設置し、聖火トーチ等の大会グッズを

展示しています。ぜひご覧ください。



## 環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」

## 町田市バイオエネルギーセンターで発電した電力を鶴見川クリーンセンターで利用します

☎水再生センター☎044・988・7101

下水処理場から排出されるCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を削減するため、町田市バイオエネルギーセンター(以下同センター)で発電したCO<sub>2</sub>排出係数(※)が低い電力を、4月1日から鶴見川クリーンセンターで利用開始します。

### 【CO<sub>2</sub>排出量削減】

同センターの電力は、廃棄物(ごみ)をエネルギー源とするため、従来

契約していた電力会社と比較してCO<sub>2</sub>排出係数が約4割低くなります。年間約1400tのCO<sub>2</sub>排出量削減が可能となります。

### 【電力の地産地消】

同センターの余剰電力を鶴見川クリーンセンターで利用することで電力の地産地消を実現します。これにより、町田市の再生可能エネルギー導入量の増加やCO<sub>2</sub>排出量削減が可能となり、地域における持続可能な循環型社会の構築に大きく寄与します。